

第 29 回 日本体外循環技術医学会  
北海道地方会大会

テーマ 『紡ぐ力、拓く知』

日程・抄録

- 大 会 長 : 菅原 誠一 (手稲溪仁会病院)
- 会 期 : 令和 7 年 9 月 28 日 (日曜日)
- 会 場 : 手稲溪仁会病院 K ホール  
〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁 1-40
- 開 催 形 式 : ハイブリッド開催 (現地+Web ライブ配信)
- 主 催 : 日本体外循環技術医学会北海道地方会
- 後 援 : 一般社団法人 日本体外循環技術医学会
- 事 務 局 : 手稲溪仁会病院 臨床工学部  
〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

## 第 29 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会開催のご挨拶

第 29 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会  
大会長 菅原 誠一  
(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 臨床工学部)

会員および関係者の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は日本体外循環技術医学会北海道地方会の活動に対し、深いご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび第 29 回日本体外循環技術医学会 北海道地方会大会を令和 7 年 9 月 28 日（日曜日）、札幌市の手稲溪仁会病院 K ホールにて対面と Web のハイブリッド形式で開催することとなりました。

今回の大会テーマを『紡ぐ力、拓く知』と致しました。体外循環技術を取り巻く医療の環境は、技術革新により高度化し、より高い技術や知識レベルが要求される一方で、チーム医療の深化や働き方改革などの新たな仕組みの中で複雑な対応が必要とされるようになりました。「紡ぐ力」には先人達が築いてきた知識や経験を次の世代へ丁寧に伝え、体外循環技術の質を絶えず保ち高めていく教育の力を意味し、「拓く知」には既存の知を基盤としながらも、常に問いを持ち新たな技術や概念を切り開いていく研究の営為を象徴させました。本大会では「教育」と「研究」を 2 つの柱とし、体外循環技術の未来を見据えた議論と交流の場となればと思っております。

末筆ではございますが、皆様におかれましては是非会場へ足をお運びいただき、他施設の方々との繋がりを感じながら有意義な時間をお過ごしいただければ幸いです。大会関係者一同、多くの皆様とお会いできることを心よりお待ちしております。

令和 7 年 8 月吉日

## 日程および会場のご案内

### 会期

令和7年9月28日(日曜日) 9:00 ~ 17:00 ※受付時間 8:30より

### 大会会場

手稲溪仁会病院 Kホール

ハイブリッド開催(現地+Webライブ配信)

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

メイン会場 : Kホール (Kビル2階)

大会本部 : K205/K206 (Kビル2階)

講師控室 : 応接1/応接2/応接3 (Kビル3階)

総合受付 : Kホール (Kビル2階)

機器展示会場 : Kホール (Kビル2階)

### 大会事務局

事務局長 菅原 誠一

手稲溪仁会病院 臨床工学部

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40

TEL: 011-681-8111(内2553) FAX: 011-685-8719

E-MAIL: ce.sugawara@gmail.com

## 大会会場のご案内

### ◆会場へのアクセス

**●交通アクセス**

JR手稲駅に隣接し、国道、高速道路インターチェンジにもほど近い立地環境の手稲溪仁会病院。来院などのアクセスにも大変優れています。

■JRをご利用の方  
札幌駅より小樽方面へJRご利用で10分、手稲駅下車、北口1出口から正面に建物が見えます（徒歩2〜3分）。

■バスをご利用の方  
JR手稲駅北口停留所より徒歩2分です。

■ルートマップ

The map illustrates the venue's location at Handa Station, a red dot on the JR Handa Line. It shows connections to the JR Sapporo Line, JR University City Line, and various subway lines (Toho, Toei, Nambu). National roads 5, 12, 230, 450, and 36 are also shown, along with landmarks like the Sapporo Expressway and the JR Chitose Line.

### ◆車でお越しの場合

立体駐車場を無料でご利用いただけます。

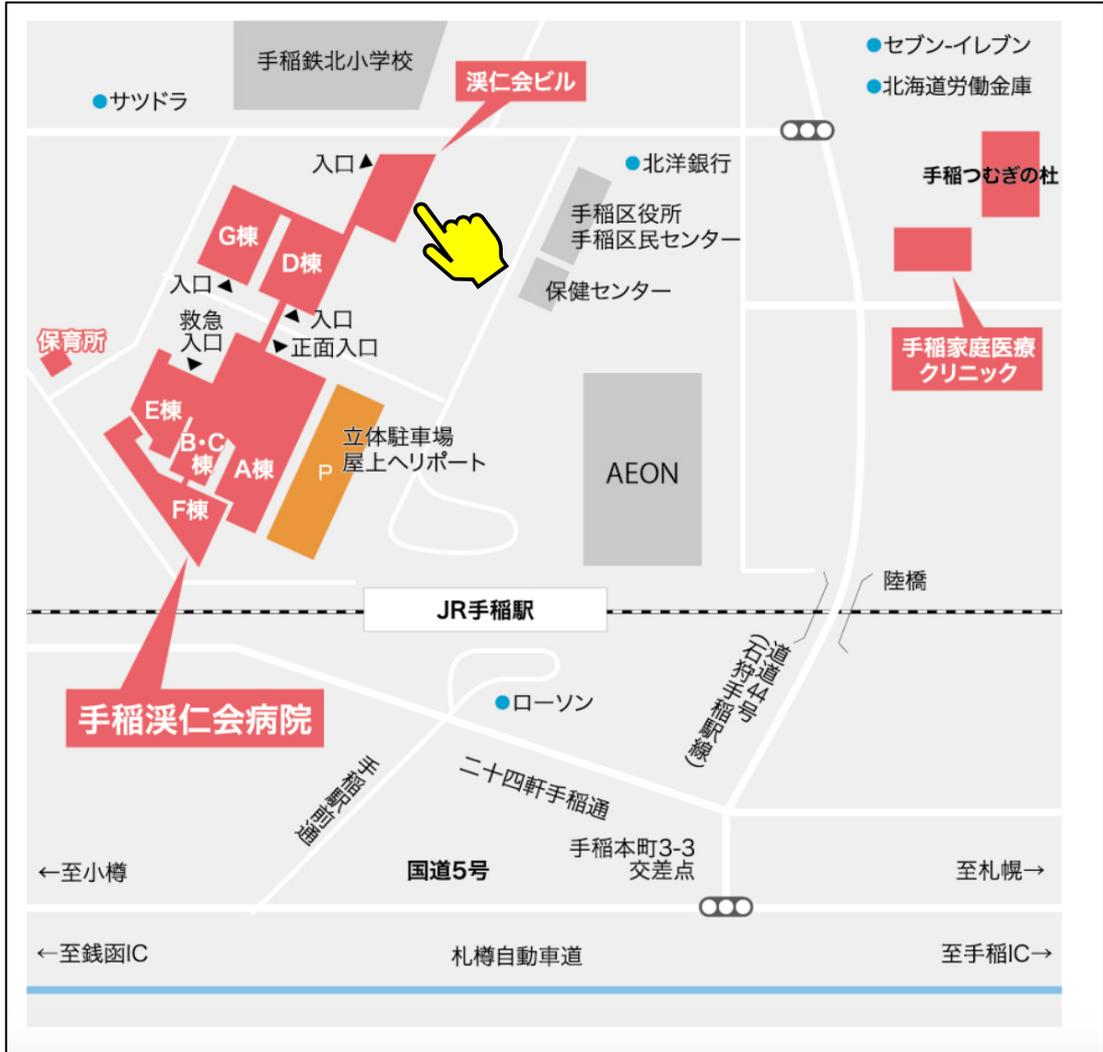
※ 駐車可能台数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関でお越してください。

※ 会場受付にて無料券をお渡ししますので、お申し出ください。

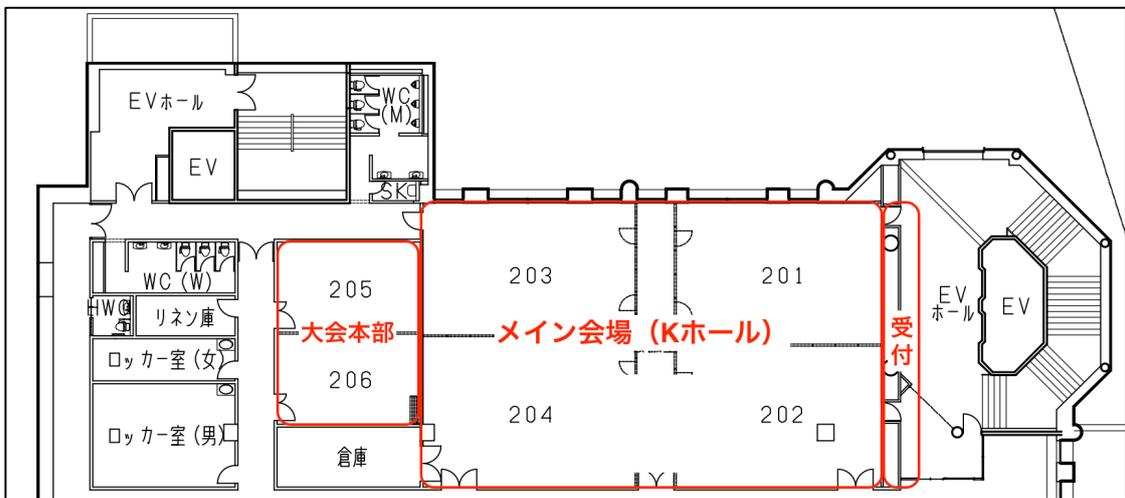
大会会場の詳細につきましては以下の URL をご参照ください。

<https://www.keijinkai.com/teine/about/access/map>

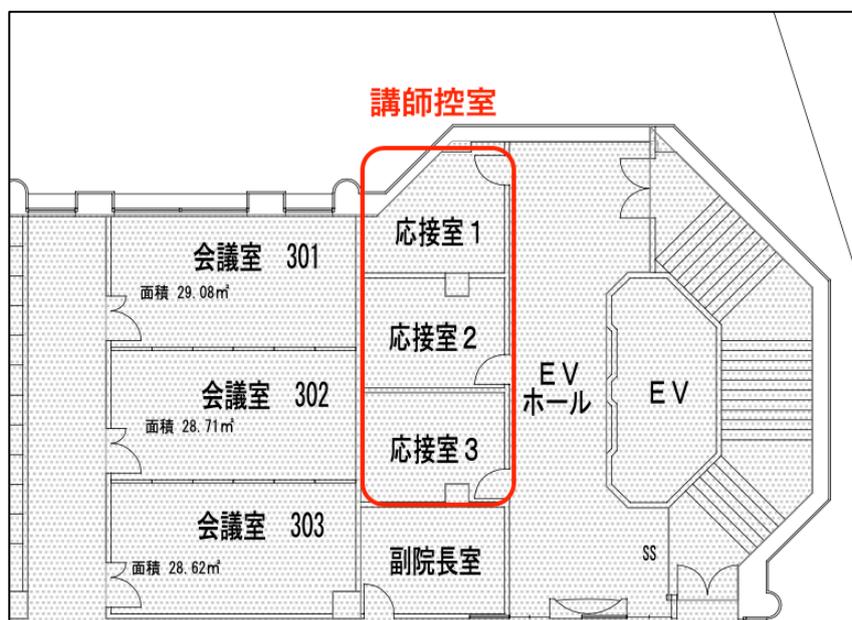
◆会場周辺見取り図



◆会場見取り図①



◆会場見取り図②



## 参加者へのご案内

### I. 北海道地方会大会への参加受付について

#### 受付方法と参加費

##### ■ 受付方法：オンライン事前登録制

令和7年9月25日（木）までに、

<https://jasecth29th.peatix.com/>

または右に示した QR コードより事前登録をお願いいたします。



原則として当日会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。

##### ■ 参加費

	参加区分	費用
参加登録費用	正会員	3,000 円
	非会員	4,000 円
	学生	500 円

### II. Web 開催のご案内

本大会は Zoom Webinar を使用した Web でも参加可能です。

決済完了後に大会全日までに事務局より Zoom Webinar へ参加招待メールが送信されます。アーカイブ配信はありません。

### III. 注意事項

1. 当日体温が 37.5℃以上ある方は現地参加を控え、Web 参加をお願いいたします。
2. 現地参加者は会期中必ず参加登録証をご着用ください。
3. 会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。会場内では電源をお切りになるか、マナーモードへの設定をお願いいたします。
4. 会場内でのスライド等の写真やビデオ撮影は禁止いたします。
5. 会場内でのサブスライドによる呼び出しは原則としていたしません。
6. 館内・敷地内は全面禁煙です。
7. 大会当日の忘れ物、落し物は大会本部でお預かりいたします。ただし、会期中のみのお預かりとさせていただきますのでご了承ください。
8. 発行される Web リンクはご自身専用です。他人と共有することはできません。
9. Web で参加される場合は、ログイン可能な環境かを予めご確認ください。
10. Web 上での講演の録音、録画、スクリーンショット等は禁止いたします。
11. SNS 等での発表者の誹謗中傷、動画の無断公開等は固く禁止いたします。

## 演者へのご案内

### I. 発表資格

一般演題演者は本会会員に限ります。臨床工学技士養成校または大学学部生・院生、指定演者、教育講演演者等は、この限りではありません。未入会の方は、必ず入会をお済ませください。本学会ホームページ <http://jasect.umin.ac.jp/>より可能です。

### II. 発表について

1. 演題は他学会等で未発表のものに限ります。演者は現地でのご発表のみです。
2. 一般演題・特別講演・ランチョンセミナーの演者は、必要であれば当日 8：30～8：45の間に演台にてデータの試写をすることが可能です。

### III. 発表データ受付

1. 現地発表は、原則学会事務局で用意する Windows PC によるプロジェクター投影のみです。PCの持ち込みには対応しておりませんのでご了承ください。
2. 学会事務局で用意する PC の OS、プレゼンテーションソフトは以下の通りです。  
Windows：Windows8 以降、プレゼンテーションソフト：PowerPoint2010 以降。  
フォントは、OS 標準のみをご用意いたします。
3. スライドは PowerPoint を用いて作成し、必ずデータを作成した PC 以外で画像等を確認し、修正がない状態でご提出ください。
4. Macintosh の PowerPoint で作成した場合は Windows10 で動作する PowerPoint2019 形式で保存し、Windows PC で動作確認の上ご提出ください。
5. 必ず事前にご自身でウイルスチェックを行ってください。
6. ご提出いただいた発表データは、大会終了後に事務局にて全て消去いたします。

### IV. 発表方法

1. 演者は、ご発表の 15分前までに、演台近くの次演者席にご着席ください。
2. 会場では各演者ご自身で演台上のマウス・キーボードにてスライド操作をしていただきます。また、演台にはレーザーポインターを準備いたします。
3. PowerPointの発表者ツールはご使用になれません。
4. 一般演題の各演者の持ち時間は、発表7分+質疑応答3分です。発表時間を超過する場合は、座長が途中で中断することがありますのでご了承ください。
5. 患者個人情報に接触する可能性がある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、患者個人情報が特定されないよう十分注意してください。
6. ご発表時には利益相反（COI）に関しての情報開示をお願いいたします。

## 座長へのご案内

### I. 大会当日について

1. 座長は現地でのご参加となります。
2. ご担当セッションの10分前までに進行席近くへご着席し待機をお願いいたします。
3. 定刻となりセッション名のアナウンスが流れましたら進行を開始してください。
4. 各セッションの進行は座長にご一任いたしますが、プログラムの定時進行のため、時間厳守にご協力をお願いいたします。

## 第29回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会

### 実行委員・運営委員

(敬称略・五十音順)

#### 大会役員

大会長	:	菅原 誠一	(手稲溪仁会病院)
事務局長	:	菅原 誠一	(手稲溪仁会病院)
事務局担当	:	鶴田 智久	(北海道大学病院)
財務担当	:	猫宮 伸佳	(市立札幌病院)

#### 実行委員

扇谷 稔	(札幌孝仁会記念病院)
窪田 將司	(市立旭川病院)
寒河江 磨	(北海道大学病院)
原田 智昭	(市立釧路総合病院)
本間 将平	(札幌心臓血管クリニック)
本吉 宣也	(旭川医科大学病院)
梁川 和也	(北海道循環器病院)

#### 大会運営役員

今野 裕嗣	(手稲溪仁会病院)
桑原 洋平	(手稲溪仁会病院)
小山 恭平	(手稲溪仁会病院)

#### 大会運営委員

安藤 千尋	(手稲溪仁会病院)
伊藤 麻佑	(手稲溪仁会病院)
加藤 海音	(手稲溪仁会病院)
菊谷 弥	(手稲溪仁会病院)
早川 直希	(手稲溪仁会病院)

#### 査読委員

本間 将平	(札幌心臓血管クリニック)
梁川 和也	(北海道循環器病院)
遠藤 陽介	(釧路孝仁会記念病院)
菊地 晴斗	(市立函館病院)
萬徳 円	(北海道立子ども総合医療・療育センター)

## プログラム

開催場所：手稲溪仁会病院 K ホール

開催日時令和 7 年 9 月 28 日（日曜日）9:00～17:00

---

### 【受付時間】

8:30 ～

---

### 【開会挨拶】

9:00 ～ 9:10

第 29 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会 大会長  
手稲溪仁会病院 菅原 誠一

---

### 【一般演題・I】

9:10 ～ 10:20

座長：札幌心臓血管クリニック 臨床工学科 吉田 晃大  
名寄市立総合病院 臨床工学科 星野 駿

○-1 『症例が著減した施設における体外循環技術維持に向けた取り組み』

旭川赤十字病院 医療技術部 臨床工学部門 太田 真也

○-2 『当院における ECMO の安全管理の現状と対策』

手稲溪仁会病院 臨床工学部 伊藤 麻佑

○-3 『VR 装置を用いた ECMO 回路組み立てコンテンツの作成』

北海道情報大学 医療情報学科 臨床工学専攻 谷 晃希

○-4 『脳梗塞合併患者にヘパリンを併用しメシル酸ナファモスタットを

使用した体外循環の経験』

札幌東徳洲会病院 CE 科 佐藤 寿希哉

○-5 『急性大動脈解離患者が PLSCV 遺残を伴った 1 例～チームとしてどう臨むか～』

札幌東徳洲会病院 CE 科 今田 英利

○-6 『当院の MICS（低侵襲心臓手術）における体外循環の現状』

札幌孝仁会記念病院 臨床工学部 井上 真弓

○-7 『静脈リザーバーにおける気泡補足量の検討』

北海道情報大学 医療情報学科 臨床工学専攻 佐々木 柚紀

**【教育講演】**

**10:20 ～ 11:10**

共催：テルモ株式会社

座長：華岡青洲記念病院 臨床工学部 寒河江 磨

**『私が体外循環を志した理由～経験を紡ぎ、後進と共に拓く体外循環～』**

札幌孝仁会記念病院 臨床工学部 佐藤 幸平  
北海道大学病院 ME 機器管理センター 嶋田 智久

**【大会長企画】**

**11:15 ～ 11:45**

座長：手稲溪仁会病院 臨床工学部 菅原 誠一

**「Perfusionists of Bangladesh Building Careers and Saving Lives  
～バングラデシュパフュージョニストの紹介～」**

SHIP INTERNATIONAL HOSPITAL Medical Technology & Engineering

関 謙太郎 先生

Md.Khadimul Islam 先生

**【ランチョンセミナー】**

**11:55 ～ 12:55**

共催：リヴァノヴァ株式会社/株式会社ジェイ・エム・エス

座長：手稲溪仁会病院 臨床工学部 今野 裕嗣

**「当院における Essenz 体外循環システムの使用経験」**

山形大学医学部附属病院 臨床工学部  
中村 圭佑 先生

**【一般演題・II】**

**13:00 ~ 14:00**

座長：札幌東徳洲会病院 CE科 今田 英利  
札幌孝仁会記念病院 臨床工学部 梶原 康平

O-8 『自己血回収装置 autoLog IQ の使用経験』

札幌心血管クリニック 臨床工学科 本間 将平

O-9 『心筋梗塞後の心室中隔穿孔閉鎖術に対して IMPELLA 補助下にて

人工心肺を用いた 1 例』

手稲溪仁会病院 臨床工学部 安藤 千尋

O-10 『右側大動脈弓を伴う Kommerell 憩室に対する体外循環の経験』

手稲溪仁会病院 臨床工学部 小山 恭平

O-11 『乳児 Peripheral ECMO に送血管として透析シャント PTA 用の

シースを使用した 1 例』

北海道立子ども総合医療・療育センター 臨床工学科 萬徳 円

O-12 『持続的逆行性冠灌流法の使用経験』

北海道循環器病院 臨床工学科 山田 徹

O-13 『MICS における心筋保護間隔は手術進行に合わせたタイミングの

投与が最適である』

旭川医科大学病院 臨床工学技術部門 本間 祐平

**【特別講演】**

**14:10 ~ 15:10**

座長：手稲溪仁会病院 臨床工学部 菅原 誠一

**「機械的循環補助を用いた重症心不全診療の現状と課題」**

国立循環器病研究センター病院 移植医療部 心不全・移植科  
渡邊 琢也 先生

**【シンポジウム】**

**15:15 ~ 16:45**

座長： 華岡青洲記念病院 臨床工学部 寒河江 磨  
北海道大学病院 ME 機器管理センター 植村 勇斗

テーマ『後進に伝えたい、私のこだわりモニタリング!』

シンポジスト

華岡青洲記念病院 臨床工学部 寒河江 磨  
旭川医科大学病院 診療技術部 本吉 宣也  
国立病院機構帯広病院 臨床工学部門 加藤 裕希  
KKR札幌医療センター 臨床工学科 小倉 直浩

コメンテーター

日本医科大学附属病院 ME 部 鈴木 健一

**【第 30 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会】**

**16:45 ~ 16:55**

第 30 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会 大会長  
札幌心臓血管クリニック 臨床工学科 本間 将平

**【閉会挨拶】**

**16:55 ~ 17:00**

第 29 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会 大会長  
手稲溪仁会病院 臨床工学部 菅原 誠一

◆こ協力企業様

(敬称略・五十音順)

コヴィディエンジャパン株式会社  
株式会社 SMC  
株式会社ジェイ・エム・エス  
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社  
泉工医科工業株式会社  
テクノウッド株式会社  
テルモ株式会社  
平和物産株式会社  
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
マリクロットファーマ株式会社  
LivaNova 株式会社